

# ● 水 稻

## 重点取組事項

◎反収は現在の5%アップ	① 適正な肥培管理 ② 市町村の目標が460kg～540kgと幅があるため目標値は設定しない。 ■反収は窒素を多く施肥すれば上がるが、倒伏せず食味も落ちない程度にする。
◎一等米比率全品種100%	① カメムシ防除の徹底 ② 適期作業・適期収穫 ③ 高温時の水管理徹底 ■水管理の良し悪しが品質に関わってくるため、6月初旬から中旬までの水管理や8月の出穂期に合わせた水管理(たつぷり水を張ること)などその時期に適した管理に注意を払う。 ■雑草を生やさない。
◎肥 料	① 肥料は平成30年度統一ブランドに向けて各地区本部で現地圃場試験中 ② 工場直送による一袋単価ダウン
◎農 薬	① 農薬は大型規格商品による経費ダウン
◎省力栽培による労働時間短縮	① 直播 ② 密植苗 ③ 元肥箱施用
◎需給調整	① 平成30年度以降は行政による生産調整は廃止されるが需給調整維持
◎概算単価	① 経営の成り立つ概算単価の実現
◎複数年契約	① 複数年契約による安定価格
◎新規需要米(飼料用米)制度活用	① 有利な制度である以上活用
◎飼料用米・米価の将来を見据えた対策	① 一俵当たりの生産費減 ・規模拡大・分散錯圃(農地が点在)の解消による作業効率化 ・直播・密植苗による省力化 ・農業機械のメンテナンス徹底による耐用年数を超えた機械の使用 ② 果樹・野菜・花卉等との複合経営

## ◎各地区の生産状況と品種作付計画

(単位:ha)

地区	出荷契約	現状		H29		H30		地区名	現状		H29		H30	
		面積	比率	面積	比率	面積	比率		面積	比率	面積	比率	面積	比率
福島	コシヒカリ	966	85%	935	83%	880	78%	そうま	1,169	60%	990	45%	1,000	40%
	ひとめぼれ	77	7%	80	7%	80	7%		330	17%	330	15%	250	10%
	天のつぶ	60	5%	80	7%	135	12%		389	20%	770	35%	1,125	45%
	その他	29	3%	35	3%	35	3%		60	3%	110	5%	125	5%
	小計	1,132		1,130		1,130			1,948		2,200		2,500	
伊達	コシヒカリ	927	94%	900	91%	830	85%	合計	5,501	80%	5,175	73%	4,910	66%
	ひとめぼれ	7	1%	10	1%	30	3%		613	9%	620	9%	560	8%
	天のつぶ	44	4%	65	7%	115	11%		601	9%	1,115	16%	1,725	23%
	その他	6	1%	10	1%	10	1%		131	2%	185	3%	200	3%
	小計	984		985		985			6,846		7,095		7,395	
安達	コシヒカリ	2,439	88%	2,350	85%	2,200	79%	※1 H28年産出荷契約面積データに基作成 ※2 福島、伊達、安達地区は、出荷契約面積を横這いで計画 ※3 そうま地区は、水稻作付再開により面積増加						
	ひとめぼれ	199	7%	200	7%	200	8%							
	天のつぶ	108	4%	200	7%	350	12%							
	その他	36	1%	30	1%	30	1%							
	小計	2,782		2,780		2,780								

## ◎管内農家の生産費・複合経営

農家	耕作面積	一俵当たり生産費	経営部門
A	18.2ha	約 12,000円	単作
B	26.2ha	約 7,900円	果樹複合
C	12.6ha	約 10,100円	果樹複合
D	10.0ha	約 7,500円	野菜複合

※本来は経営者の労働費も生産費に算入するが今回は未算入

※水稻単作は100%水稻に費用が配分されるため結果として若干割高